

(別紙)

◆ 入所調査票項目判断基準 <住居環境>

○ 項目「4 住居環境」について、下記により評価を行うこととする。

入所申込者（ご本人）氏名：_____

配点	判断基準
10点	<input type="checkbox"/> 住居がない・立ち退きを迫られている（仮設住宅に居住している場合も含む） <input type="checkbox"/> 歩行が困難だが、エレベーターのないアパートやマンション等の2階以上に居住している <input type="checkbox"/> 家屋全体が極端に老朽化しており、床の抜け落ちや壁の隙間等が目立つ <input type="checkbox"/> トイレが屋外にある <input type="checkbox"/> 風呂が屋外にある <input type="checkbox"/> 廃棄物等が放置されており、居住スペースが限られている、あるいはない
各1点	<input type="checkbox"/> 部屋毎（動線上）に敷居等の段差がある <input type="checkbox"/> 動線上に手すりがない <input type="checkbox"/> 車椅子等を使用しているが、居室や寝室の床材が適していない（畳等） <input type="checkbox"/> トイレや浴室、廊下等が狭い <input type="checkbox"/> 便器が和式である <input type="checkbox"/> 浴槽の高さが高い <input type="checkbox"/> 玄関の上りかまちの高さが高く、出入りの際の支障が大きい <input type="checkbox"/> 居宅前通路が勾配のある坂道や砂利道等であり、往来が困難 <input type="checkbox"/> その他（ ）
0点	<input type="checkbox"/> 主要箇所は改修済みであり、特に支障はない <input type="checkbox"/> そもそもバリアフリー住宅であり、特に支障はない

注) 入所申込者（ご本人）の身体状況、現に使用する福祉用具（車椅子等）の状況、実際の構造から生じる支障の有無に着目し評価すること。

(例：「入浴は通所サービス利用時のみ行っている」場合であっても、実際の住居構造を基に判断。)

※ 適用：平成27年4月1日申請分～